

「再編状況」と自治体の状況

矢臼別を巡る状況

矢臼別平和委員会 中村訓子

1、 矢臼別の1年

矢臼別の運動の中心になっているのは矢臼別平和委員会。月1回の例会。(平日の日中なので働いている人はなかなか参加できない。)日米関係を考える会というのもあり、毎月23日になにか渡辺佐知子さんのお宅で学習しています。また、9条の会も2か月に1度くらいの行事をしています。メーデーや原爆展、10・21国際反戦デーなどの大きなイベントは平革連の中で交代で当番団体が企画にあたり、他団体が協力します。平和盆踊りや平和餅つき望年会は実行委員会方式で取り組みます。

私が住んでいるのは別海町西春別駅前。700戸中200戸が自衛隊という町です。3月に退職するまでは教員として、38年。ほとんど矢臼別演習場のすぐそばの学校にばかり勤めてきました。矢臼別は地元でもあり、年に何度も足を運び、できることをしてきました。

2、 今年度の自衛隊の転地演習について

今年度は海兵隊の移転訓練がありませんでしたが、自衛隊の共同転地演習はかつてない規模で行われました。以下、矢臼別平和委員会会員便り10月号と、道平理事会の渡辺佐知子さんの報告をもとに、中村の体験も踏まえて報告します。

東千年の第7師団が実施した転地演習は、3000の隊員と戦車100両、火砲20門を移動させるというかつてない規模の機動演習でした。重量50トンの90式戦車を分解してトレーラー200台で輸送。輸送に4週間、演習に10日あまりというものでした。

今回、転地演習がらみで交通事故が3件ありました。地对空ミサイル発射機の転覆、陸自トラックに住民の乗用車が追突、自衛隊車両への接触事故です。特に8月23日の早朝、第2師団所属の地对空ミサイル発射機が矢臼別の入口に近い中西別の国道で路外転落というのは衝撃的な事故でした。市街地の入口という位置での事故であり、一步間違えば自損で済まない物でした。

転地演習自体は、演習場から離れてしまえば、よくわからないというのが本当の所です。しかし、演習場内に住んでいる渡辺さんや浦さんの話では例年にないような訓練だったとのこと。特に、深夜の0時から3時ごろに車両の走行音が大きかった、深夜に戦闘ヘリの爆音、渡辺家の家を囲むように聞こえる小火器の発射音、家の近くまでジープが出てきて道をふさぐなど。「演習場が近くに迫っている感じ」「私有地の存在が周知されていない感じ」というのが渡辺さんの印象です。

8月20日の転地演習抗議集会や国道272号線ぞいでの定点抗議行動にも参加しました。自衛隊の車が連続して通ることはあまりなく、一般車両の通行が多かったです。深夜、自衛隊車両が通過しているとの連絡を受け、写真を撮りに行きました。2度目に撮りに行ったときは、我が家のすぐそばを、戦車を積んだトラックが移動していきました。

町議会では共産党議員が年に2、3回は矢白別問題をとりあげ、一般質問をしています。9月議会でも、自衛隊車両の事故の問題、演習通知の問題等取り上げました。

また、「自衛隊車両の事故」「夜間訓練」「自衛隊による通路妨害」「ゲートを開けっ放しにしていること」などにはその都度抗議をし、「演習通知を郵送すること」などの要望もしてきました。役場でできることについてはそれなりの対応をしてくれています。声は届いているので、一つ一つおろそかにせず、講義や要望をあげていくことが大事なのだと改めて思います。しかし、一定の枠以上のことはしないというのが自治体の変わらない態度であるとも感じます。

3、まとめ

学生のころには「安保条約廃棄！」と言っても実感はなく、観念的な物だったように思いますが、ここ、矢白別では「安保」が目に見える形であります。日米共同演習も、自衛隊の転地演習も年々複雑な感じになってきているように思います。

ここ、西春別は自衛隊の町で、特に小学校には自衛隊員の子どもがたくさんいます。(子どもが中学生や高校生になると家を建てて単身赴任)。自衛隊員の子は「うちのお父さん、山に行つて、〇〇頃帰ってくるんだ」という言い方をよくします。「山に行く」というのが、長期間演習に参加するという意味なのですが、「山」のなかにアメリカが入っていたのには驚きました。

平和勢力ですが、矢白別の運動の中核にあった教組の運動が小さくなってきており、メンバーが固定化してきているように思います。

一方、矢白別平和委員会の会員は増えています。退職して少し身軽になったので、平和のためになにかしたいという人たちも含めて、中・高年の方で、新しく運動に参加してくださる方が意外に多く、励まされています。

矢野利平和委員会

日米関係を考える会 テーマ

第一回 (2010・9・23)

安保条約と農業 講師 岩崎和雄さん (農民連) 13人?

第2回 (2010・10・23)

映画「マリーンズ・ゴー・ホーム」 53人

第3回 (2010・11・23)

映画「ワンショット・ワンキル」(海兵隊員の作り方) 釧路の映画会へ 10人

第4回 (2011・1・23)

教育問題と日米安保 お話 手繰満さん 中村訓子さん (根教組) 13人

12月は吹雪のため休会

第5回 (2011・2・23)

安保と外国農業 (キューバ農業視察報告) 岩崎さん

第6回 (2011・3・23)

別海町の防衛予算 (町の出前講座利用) 24人

第7回 (2011・5・23)

安保と原発 DVD「福島原発で何が起きているのか」 8人

4月は休会

第8回 (2011・6・23)

DVD「新『ボーエータイコー (防衛大綱)』っていったい何？」 7人

第9回 (2011・8・23)

医療と安保 講師 吉田岳彦さん (道東勤医労書記長) 13人

7月は原爆展に集中するため休会

第10回 (2011・9・23)

安保条約を条文に沿って検証 6人

第11回 (予定) 教科書のなかの安保条約

10月は10・21集会に集中するため休会

第12回 (予定) 日本平和大会報告会